【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和3年3月18日(2021.3.18)

【公表番号】特表2020-514349(P2020-514349A)
【公表日】令和2年5月21日(2020.5.21)
【年通号数】公開・登録公報2020-020
【出願番号】特願2019-549542(P2019-549542)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/28　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　33/24　(2019.01)
Ａ６１Ｋ　31/282　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/519　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/343　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/201　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/165　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/06
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｐ　43/00　１２１
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　35/02
Ａ６１Ｐ　27/02
Ａ６１Ｐ　31/04
Ａ６１Ｐ　25/28
Ａ６１Ｐ　1/04
Ａ６１Ｐ　9/00
Ａ６１Ｋ　33/24
Ａ６１Ｋ　31/282
Ａ６１Ｋ　31/519
Ａ６１Ｋ　31/343
Ａ６１Ｋ　31/201
Ａ６１Ｋ　31/165
Ａ６１Ｋ　31/18

【手続補正書】
【提出日】令和3年2月8日(2021.2.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更

【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被験者において網膜疾患を処置するための、［（２Ｅ）－２－［（３－メトキシ－１，４－ジオキソ－１，４－ジヒドロナフタレン－２－イル）メチリデン］－Ｎ，Ｎ－ジエチルペンタンアミド］（ＡＰＸ２００９）、（２Ｅ）－２－［（３－メトキシ－１，４－ジオキソ－１，４－ジヒドロナフタレン－２－イル）メチリデン］－Ｎ－メトキシペンタンアミド］（ＡＰＸ２０１４）及びこれらの組み合わせからなる群から選択される脱プリン脱ピリミジン部位エンドヌクレアーゼ／酸化還元（レドックス）因子１（ＡＰＥ１／Ｒｅｆ－１）阻害剤であって、前記ＡＰＥ１／Ｒｅｆ－１阻害剤がＡＰＥ１／Ｒｅｆ－１のレドックス機能を阻害するＡＰＥ１／Ｒｅｆ－１阻害剤。
【請求項２】
前記網膜疾患が脈絡膜新生血管（ＣＮＶ）、加齢性黄斑変性症（ＡＭＤ）、未熟児網膜症（ＲＯＰ）、糖尿病性網膜症（ＤＲ））及び虚血性網膜症からなる群から選択される請求項１に記載のＡＰＥ１／Ｒｅｆ－１阻害剤。
【請求項３】
被験者において網膜疾患を処置するための医薬組成物であって、請求項１に記載のＡＰＥ１／Ｒｅｆ－１阻害剤を、第２治療剤と組み合わせて含む医薬組成物。
【請求項４】
前記第２治療剤がナパブカシン、ルキソリチニブ、及びこれらの組み合わせからなる群から選択されるＳＴＡＴ３阻害剤である請求項３に記載の医薬組成物。
【請求項５】
前記第２治療剤が、シスプラチン、オキサリプラチン、カルボプラチン、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される白金製剤である請求項３に記載の医薬組成物。
【請求項６】
網膜疾患を患う被験者において血管新生を低下させるための、［（２Ｅ）－２－［（３－メトキシ－１，４－ジオキソ－１，４－ジヒドロナフタレン－２－イル）メチリデン］－Ｎ，Ｎ－ジエチルペンタンアミド］（ＡＰＸ２００９）、（２Ｅ）－２－［（３－メトキシ－１，４－ジオキソ－１，４－ジヒドロナフタレン－２－イル）メチリデン］－Ｎ－メトキシペンタンアミド］（ＡＰＸ２０１４）及びこれらの組み合わせからなる群から選択される脱プリン脱ピリミジン部位エンドヌクレアーゼ／酸化還元（レドックス）因子１（ＡＰＥ１／Ｒｅｆ－１）阻害剤であって、前記ＡＰＥ１／Ｒｅｆ－１阻害剤がＡＰＥ１／Ｒｅｆ－１のレドックス機能を阻害するＡＰＥ１／Ｒｅｆ－１阻害剤。
【請求項７】
前記被験者が、脈絡膜新生血管（ＣＮＶ）、加齢性黄斑変性症（ＡＭＤ）、未熟児網膜症（ＲＯＰ）、糖尿病性網膜症（ＤＲ））及び虚血性網膜症からなる群から選択される網膜疾患を患っている請求項６に記載のＡＰＥ１／Ｒｅｆ－１阻害剤。
【請求項８】
網膜疾患を患う被験者において血管新生を低下させるための医薬組成物であって、請求項６に記載のＡＰＥ１／Ｒｅｆ－１阻害剤を、第２治療剤と組み合わせて含む医薬組成物。
【請求項９】
前記第２治療剤がナパブカシン、ルキソリチニブ、及びこれらの組み合わせからなる群から選択されるＳＴＡＴ３阻害剤である請求項８に記載の医薬組成物。
【請求項１０】
前記第２治療剤が、シスプラチン、オキサリプラチン、カルボプラチン、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される白金製剤である請求項８に記載の医薬組成物。